

議長定例記者会見 会見録

日時：令和3年2月1日 10時30分～

場所：全員協議会室

1 冒頭の挨拶

2 質疑項目

○1月29日の緊急会議について

○選挙区及び定数に関する在り方の検討について

1 冒頭の挨拶

(議長)おはようございます。ただ今から2月の議長定例記者会見を始めさせていただきます。本日は発表事項はございませんけれども、新型コロナウイルスに関する県議会の対応など、少しコメントをさせていただきたいと思います。

早いもので、新年が明け、1カ月が経過しまして、今日から2月でございます。先月7日に関東の1都3県、1月13日には愛知、岐阜、大阪、京都などの近県を含む2府5県に緊急事態宣言が発令され、本県におきましても1月14日に独自の緊急警戒宣言が発令されたところでございますが、県内外でコロナの感染拡大の勢いは衰えることなく続いているように感じられるところでございます。これまでに感染されました方々に対しまして改めてお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々には心よりお悔やみを申し上げます。また、医療関係者をはじめ、引き続き最前線で新型コロナウイルスへの対応に当たられているすべての方々に、この機会をお借りいたしまして、深く感謝の意を表したいと思います。県民の皆さんにおかれましては、いまだ収束が見通せないコロナ禍の中で、不安で不自由な日々を過ごされていることと思っておりますけれども、今しばらくご辛抱いただきまして、引き続き、感染の拡大を抑えるための慎重な行動をお願いしたいと思います。県議会としましては、1月29日に新型コロナウイルス関連の4回目となる緊急会議を開きまして、新型コロナウイルス関連の補正予算約31億円を可決したところでございます。2月17日には定例会議も始まりますけれども、感染防止対策を徹底しまして、これまで以上に気を引き締めて、適切に議会運営に取り組みたいと考えております。

次に、本県議会の定数及び選挙区の検討についても少し申し上げたいと思います。昨年12月21日の代表者会議におきまして、次の選挙に向けた三重県議会議員選挙の定数及び選挙区の改正についてのたたき台となる案を、正副議長において検討し、お示しさせていただくこととなりました。このため先週の

木曜日、1月28日に定数及び選挙区に関する各会派からのヒアリングを実施しまして、少数会派を含むすべての会派からご意見、ご意向を伺ったところでございます。各会派からはさまざまなご意見を伺いましたので、これらのご意見を踏まえた上で、昨年秋に選挙区及び定数に関する在り方調査会でお取りまとめいただきました報告書の内容を最大限尊重をしながら、副議長としっかり検討を行い、できるだけ早い時期に正副議長案をお示ししたいと考えているところでございます。今日私からは以上でございます。よろしく申し上げます。

2 質疑応答

○1月29日の緊急会議について

(質問) その補正予算ですけれども、金曜日の議案質疑では、例えば緊急警戒宣言に伴う営業時短要請の対象地域の追加であったりとか、あとは補助金の拡充であったり、全会一致で可決されたものの、各会派の議員からさまざまな声上がりしましたけれども、議長としては今の県のコロナ対応についていかがお考えでしょうか。

(議長) 今回の可決させていただいた補正予算につきましては、審議の過程において、今、記者からご案内いただきましたように、議員の皆さんがさまざま地域なり県民の皆さまの声をお聞きした上での発言等がございました。財源等も踏まえてなかなか知事並びに執行部のほうも、大変難しい選択の中で判断して予算配分、事業施策を進めていただいていることは、十分お察しをさせていただくところでございますけれども、あれだけ議員の皆さまが県民の声を挙げられておったということでございますので、今回はあの形で、執行部提案の形で可決をさせていただきましたけれども、その上で、また先般のご意見を踏まえて、この2月定例会議でまたそれを反映させた形で執行部から、また知事から、次の手だての提案がいただけるんじゃないかなと期待をさせていただいているところです。

○選挙区及び定数に関する在り方の検討について

(質問) あともう一つお尋ねしますが、選挙区と定数の検討に向けての話です。議長としてはできるだけ早い時期に正副議長案を示したいということでしたが、各会派の提案を見てみると会派ごとにさまざまな意見があって、一部相反するようなこともあると思うんですけれども。今後その会派の理解を、全会派の理解を得ていくためにどのように調整されていくか。難しいところだと思いますが今のお考えを。

(議長) おっしゃられたように28日の聴取会を踏まえてこれから我々、正副議長のたたき台となる案を検討していくわけですが、おっしゃられたようにいろいろお考え、ご意向に開きがあったり、相反するご意見もあったということで、これをすべての会派、すべての議員の方々が理解いただく、納得いただけるっていう、そういう案というのは現実なかなか難しいというか、相反する意見を納得いただくということは、できることでもないかもしれませんので、とにかく総合的に、先ほど申しましたけど、調査会のいただいた報告書を最大限尊重させていただきながら、そして先ほど申し上げましたけれども、各会派のご意見、ご意向を踏まえた上で、総合的にご理解とまでいかななくても、こういう形でどうでしょうかということでお示しをさせていただくことになっていくというふうに思っております。

(質問) これについては副議長にもお尋ねしますが。

(副議長) 議長が先ほど、今おっしゃったとおりでございますが、実際に各会派44議席、そしてまた49議席という幅の広い提案をいただきましたものですから、また議長としっかりと話し合いをさせていただいて、決定をさせていただきたいと思っておりますし、非常に厳しい状況になるかと思えます。ですが、やはり多くの議員の先生方のご理解をいただけるような正副議長案にしていきたいと、このように考えております。以上です。

(質問) もう1点だけさらにちょっと踏み込んで聞くんですけど、相反することについて、一つ例として一人区をどうするかという問題があると思うんです。とある会派では合区ということで一人区を解消しようという提案でしたし、一人区はそのままがいいという意見もありました。また、法律、制度の問題として一人区はできないという意見もあったり、またこれもさまざまですが、今の現時点で議長として一人区についてはどういうふうに対応されますか。

(議長) これも意見が、おっしゃられたようにさまざまございましたし、副議長と検討に入らせていただくのもまだこれからのことでございますので、今日の段階で申し訳ないですが、そのご質問に対してコメントはちょっと差し控えさせていただきたいと思っておりますので、ご容赦を願いたいと思えます。

(質問) 定数の関係で、できるだけ早い時期に示したいということをおっしゃっていましたが、例えば目途というか、考えられているスケジュール感みたいなものがありましたら、お聞きしたいんですけども。

(議長) スケジュール感についても、これから副議長と検討に入らせていただくわけですので、それも含めてこれからということでご容赦いただきたいと思いますが、とにかく私たちもその節目節目の時期がございますので、役員の改選時期ということも含めて節目節目の時期がございますので、それはしっかり見据えながら、とにかく早くということで、心がけて検討に入りたいと思っております。

(質問) 質問よろしいでしょうか。では、ありがとうございます。

(議長) ありがとうございます。また引き続きよろしく申し上げます。

(以 上) 10時43分 終了